

えがお 子どもの笑顔、いっぱい すくすく、元気なまち

よこはまし
横浜市は8月からすべての中学生までの
医療費を無料にします

子育てしやすい、すてきなまちへ！くわしいことは2ページで



市長だより

サクラやチューリップなど花でいっぱいの4月、入園や入学、進級（＝上の学年にすすむこと）など、子どもたちが新しい一歩をふみだします。その子どもたちを見ると、希望にあふれた未来を感じます。子どもたちの健康な成長をおうえんし、魅力がある横浜をつぎの世代につなげていくため、横浜市では子育てしやすい環境をつくっています。市民のみなさんは長いあいだ、子どもの医療費がただになればいいとねがってきました。そのねがいをかなえるため今年8月から、中学3年生までの医療費が無料になります。お子さんが病気になったりケガをしたりした時には、安心してお医者さんにみてもらうことができます。

また、子育ての大変さを軽くするために、「子どもをあずけやすいこと」と「手続きがしやすいこと」も大切です。そのために保育所の1・2歳児の受け入れ人数をたくさんふやします。そして仕事やリフレッシュしたい時に、保育所や地域でお子さんをあずかる、「一時あずかり」もじゅうじつさせます。2023年4月から後に生まれるお子さんに無料クーポンをくばるので、ぜひ利用してください。そして子育ての手続きをオンライン化し、スマートフォンひとつで、いつでもどこでも手続きができ、必要な情報にアクセスできるようにしていきます。

これからも、妊娠・出産から学校に通う時期をととして「横浜で子育てしたい」「横浜で子育てができてよかった」と思ってもらえるようにしていきます。

よこはましちょう やまなかたけはる
横浜市長 山中竹春



安心して子育てができるまちへ

よこはまし
横浜市は、8月から
すべての中学生までの

いりょうひ むりょう
医療費を無料にします！

子どもの年齢	0歳	1-2歳	3歳-小3	小4-中3
助成の対象	入院・通院			
所得制限	なし		あり	
助成の内容	非課税	全額市が払う		
	所得制限額未達 課税	全額市が払う		一部自分で払う
所得制限額以上	全額市が払う	一部自分で払う	対象外	

子どもの年齢	0歳-中3
助成の対象	入院・通院
所得制限	なし
助成の内容	ぜんがくし 全額市が払う

無料に！

これからのスケジュール

5月の終わりがち

今まで助成をうけていなかった人に横浜市からお知らせが来ます
お知らせを読んで、もうしこんでください。7月終わりがち、医療証がもらえます。



8月から

医療機関での保険診療分が無料になります
※入院の差額ベッド代や文書料、健康診断など、保険が使えないものは助成の対象になりません。

くわしいことは、こちらで

気軽に子どもをあずけられるように、クーポンをくばります

横浜市では、保育施設などで一時的にお子さんをあずかることができます。気軽に利用できるように、2023年4月1日から後に生まれたお子さんのために、無料クーポンをくばります。



保育施設であずかります

あずかる場所

- 認可保育所など
- 認可外保育施設※1



無料クーポン

はじめてのおあずかり券

24時間分(1時間につき300円)

の電子クーポンをくばります

利用できる施設など、
くわしいことはこちらで



※1…対象:乳幼児一時あずかり事業

●クーポンは、6月ごろからうけとれるようにする予定です。市ウェブページなどでお知らせします。

地域であずかります

あずかる人

子育てサポートシステムに登録した地域の人
※保育について研修を受けた人があずかります。

無料クーポン

子サポdeあずかりおためし券

8時間分(1時間につき500円)の紙クーポン

をくばります

※子育てサポートシステムの会員として
利用登録すると、うけとれます。



Q 子育てサポートシステムってどんなもの？

A 地域で子どもをあずけたり、あずかったりして、つながりを広げて、地域全体で子育てをしていこうという、会員制のボランティア制度です。ボランティアの人には、お礼のお金がしはられます。区の地域子育て支援拠点がマッチングをします。

💡 今までもりも使いやすく
1時間の利用料が800円から500円に！

※平日7:00~19:00の場合。それ以外は100円プラスになります。

※ボランティアの人には、利用料のほかに、市からお礼のお金がしはられます。

子育て世代の省エネ住宅への住替えをおうえんします

省エネ住宅への住替えに最大100万円まで補助します。

【もうしこみ開始】4月3日(早くもうしこんだ人から。市の予算には限りがあります)

もうしこみの方法など
くわしいことはこちらから



あてはまる世帯

18歳未満※の子どもがいる世帯
または夫婦のどちらかが49歳以下※の世帯
※2023年4月1日の時点での年齢です

補助する金額

- 基礎額70万円
 - 市外から引っ越してくる場合は30万円プラスされます
- ※条件に合う新築またはリノベーション住宅

きくところ

子どもの医療費について
保育施設で子どもをあずかることについて
地域で子どもをあずかることについて
省エネ住宅住替え補助について

健康福祉局医療援助課
子ども青少年局保育・教育運営課
横浜市子育てサポートシステム本部事務局
建築局住宅政策課

TEL:045-671-4115 FAX:045-664-0603
TEL:045-671-3564 FAX:045-664-5479
TEL:045-671-4157 FAX:045-550-3946
TEL:045-671-2922 FAX:045-641-2756

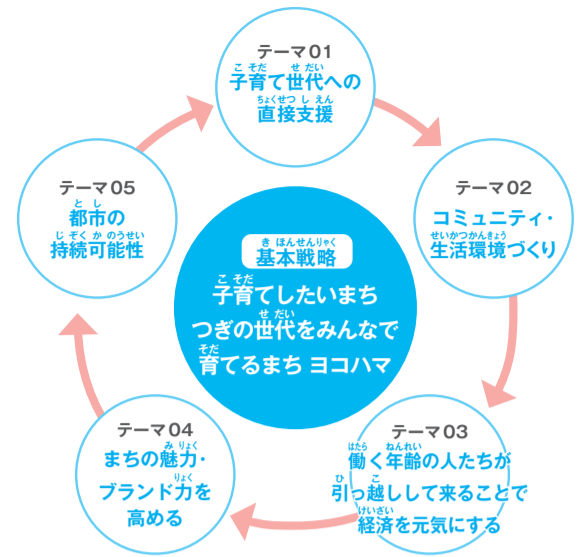
2023年度
よさん
予算

つぎの世代を育て、 明日をひらく横浜にむけて

2023年度は、「中期計画」、「財政ビジョン」、「行政運営の基本方針」という3つの方針にもとづいて取り組んでいく最初の年です。中期計画には、「子育てしたいまち つぎの世代をみんなで育てるまち ヨコハマ」という基本戦略が書かれています。それを中心に、市民生活の質と都市の活力を高めていきます。2023年度のおもなとりくみを紹介します。



※がついたとりくみについて、くわしいことは、2ページを見てください。 [横浜市 令和5年度予算](#) [検索](#)



テーマ01 子育て世代への 直接支援

- ▶ **子どもの医療費助成をじゅうじつさせる(中学生までの医療費をただにする)※** 【111億5,600万円】
- ▶ **出産費用について調査** 【1,500万円】
出産のときにかかる費用を調べて研究する。
- ▶ **はじめてのおあずかり券、子サポdeあずかりおためし券※** 【4億1,300万円】
- ▶ **すべての生徒が満足できる中学校給食を実現する** 【58億2,800万円】
中学校給食の計画をすすめて魅力を発信し、2026年度から全員が給食を利用できるように準備する。
- ▶ **子育てのDX化** 【5億5,900万円】
手続きのオンライン化などでもっと便利にする。

テーマ02 コミュニティ・生活環境づくり

- ▶ **新しい図書館のすがたを考える** 【4,500万円】
「横浜市立図書館のめざすがた」や未来の図書館にむけて、「図書館ビジョン(仮の名前)」を決める。
- ▶ **通学路の交通安全対策** 【12億6,500万円】
自動車の速度などのビッグデータなどを使って、交通安全対策を行う。
- ▶ **地域の防犯活動をたすける** 【4,300万円】
地域で防犯カメラをつけるときの費用を補助する件数をふやす。
(2022年度:100台⇒2023年度:150台)

テーマ03 働く年齢の人たちが引っ越しして来ることで経済を元気にする

- ▶ **子育て住まいサポート(省エネ住宅住替え補助など)※** 【1億8,600万円】
- ▶ **地域の移動サービスを考え、調査する** 【2億6,400万円】
敬老パス制度もふくめて、持続可能な地域の移動サービス全体について話し合う
- ▶ **「都市づくり戦略」をつくる** 【2,800万円】
魅力あるまちづくりにつながる戦略をつくる

テーマ04 まちの魅力・ブランド力を高める

- ▶ **動物園の充実(野毛山動物園リニューアル)** 【3億3,500万円】
リニューアルプランをつくり、ふれあいの場や休憩施設などを先に整備する。
- ▶ **2027年に国際園芸博覧会を開くためのとりくみ** 【7億4,400万円】
博覧会を開くために活動する初めの年として、戦略的な広報PRなどを行う。
- ▶ **安全・安心で気持ちのよい公園にする** 【154億4,800万円】
遊具などを修理したり、新しいものにとりかえる。
(2022年度:公園50か所⇒2023年度:公園80か所)

テーマ05 都市の持続可能性

- ▶ **脱炭素ライフスタイルを広める** 【8,300万円】
学校で使いやすいデジタルコンテンツを作り、子どもたちの学びにつなげる。
- ▶ **カーボンニュートラルポートをつくるとりくみをすすめる** 【2億1,000万円】
船からのCO₂排出をへらすための陸上電力供給設備を本牧ふ頭に設置する。

きくところ

財政局財政課 TEL:045-671-2231 FAX:045-664-7185

新型新型コロナウイルス感染症についての情報

ワクチン接種の最新情報



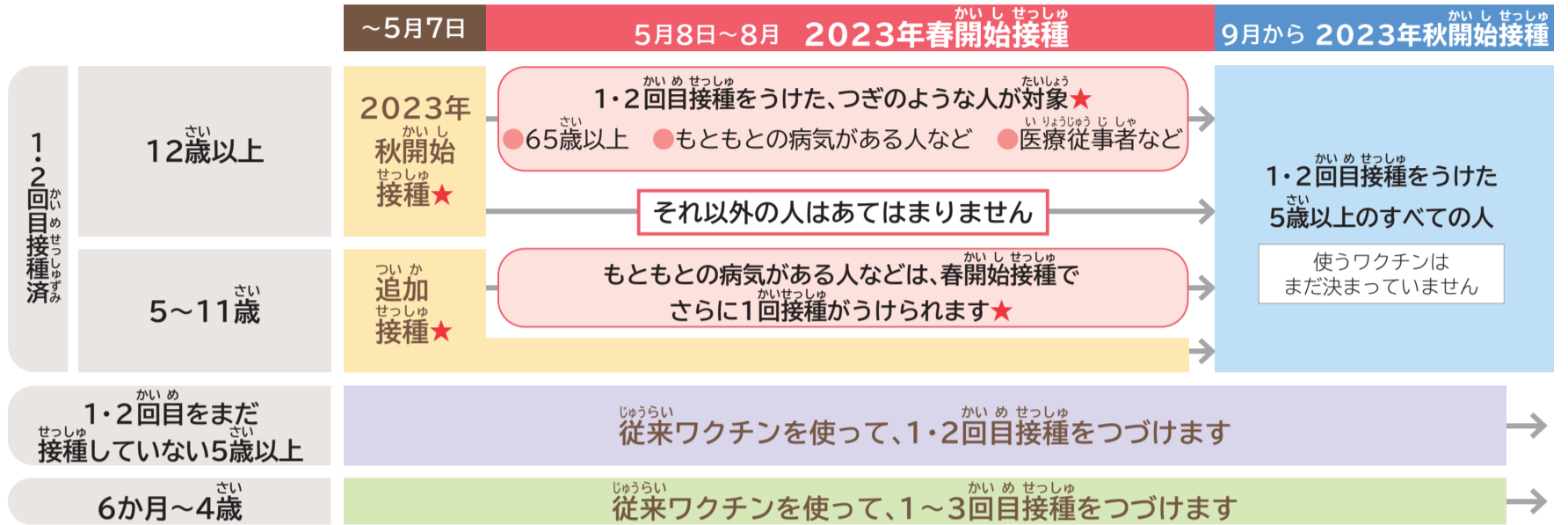
※3月13日の情報をもとにしています。国の方針などによって、内容が変わることがあります。

2023年度のワクチン接種について 2023年度も自分でお金を払わないで接種が受けられます。

5月8日から、65歳以上の人などに限定される「2023年春開始接種」が始まります。「2023年春開始接種」にあてはまらない人は、9月からの「2023年秋開始接種」で接種ができるようになります。

※12歳以上の全員のための「2022年秋開始接種」は、5月7日で終わりになります。接種券をうけとって接種を希望する人は、5月7日までに接種をすることを考えてください。

★…オミクロン株対応2価ワクチン



2023年春開始接種について

オミクロン株対応ワクチンなどを接種した人には、4月終わりごろから、新しい接種券が送られてきます。接種がすんでいない人で、3回目かそれより後の接種券を持っている人は、それを使ってください。

※「2023年春開始接種」にあてはまらない人にも接種券がとどきます。9月からの「2023年秋開始接種」まで大切にしておいてください。

予約のしかたなど、くわしいことは「広報よこはま」5月号などでお知らせします。

これからも「3つの密」にならない、人と人の距離をとる、手をよく洗う、空気をいれかえるなど、基本的な感染対策をしてください。マスクをすることがどうかは、個人の考えで決めることが基本となっています。また、検査キットや解熱鎮痛薬などを、いつも家におくようにしてください。



マスクをすることの考えかたについて

横浜市の新型コロナウイルス感染症についてきくところ TEL:0120-547-059 FAX:045-846-0500 1日24時間いつでも
 新型コロナワクチン接種についてきくところ TEL:0120-045-070 FAX:050-3588-7191
 毎日9:00～19:00 ※小さい子ども、赤ちゃんの接種についての問い合わせは18:00まで

局再編成のお知らせ 4月から市役所の組織が変わります

アフターコロナの社会で、安心して生活できる環境をつくりながら、横浜の魅力発信し、にぎわいと元気あふれるまちをつくるため、市役所の組織を再編成します。

最新の市役所のフロア一覧はこちら



1 保健所の仕事、衛生研究所などが医療局へ移ります

感染症を予防したり、病院のベッドの確保や入院の調整をする仕事の一つの局ですぐに行えるように、保健所の仕事、衛生研究所などを健康福祉局から医療局へ移します。それぞれの区の福祉保健センターの窓口は変わりません。

※新型コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症と、食中毒の対策、生活衛生にかかわる仕事など

2 にぎわいスポーツ文化局ができます

地域スポーツ・文化活動をもっとさかんにしたり、大規模イベントに合わせて宿泊と横浜の観光をいっしょに推進するために、新しく「にぎわいスポーツ文化局」をつくって、市民局のスポーツ部門を移します。

きくところ

医療局について TEL:045-671-4820 FAX:045-664-3851
 にぎわいスポーツ文化局について TEL:045-671-4120 FAX:045-663-7880



海、港、緑、歴史、地域、人々など、さまざまな魅力を持つ横浜。このまちの彩りを「よこはま彩発見」として届けていきます。



山手の西洋館

山手は海拔10~40mぐらいの丘の上にあります。海から見ると切り立ったがけの上にあるように見えます。それで開港したころには、外国人からThe Bluffとよばれていました。

その一つ、山手234番館は1927年ごろに建てられた外国人向けのアパートメントハウスでした。地震の後で横浜をはなれた外国人にもどってきてもらうために、復興事業の一つとして現在の敷地に建てられました。



蓄音機によるコンサートも開かれる山手234番館

きくところ

横浜山手西洋館ベーリック・ホール TEL・FAX:045-663-5685

2027年3月に開かれます 「GREEN×EXPO 2027」 国際園芸博覧会

2027年に横浜で初めて、日本では7回目の万国博覧会(万博)を開きます。美しい花や緑があり、最先端の園芸や農業、世界中の食べものが体験できるなど、さまざまなコンテンツをそろえます。

また、博覧会を開くまでのあいだに、いろいろなイベントなどを行います。【会場】旧上瀬谷通信施設(旭区・瀬谷区) 【会期】2027年3月19日(金)~9月26日(日) 【会場の広さ】およそ100ha (そのうち会場の広さは80ha)



国際園芸博覧会の仕事をしてくれる専門家のみなさんが決まりました。開催にむかって、どんどん取り組んでいきます。 GREEN×EXPOラボ チェアパーソン(総合監修): 浦井 史郎さん

きくところ

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 TEL:045-307-2027 FAX:045-212-1223

花と緑のシーズンになりました ガーデンネットワーク横浜2023 4月の見どころ

チューリップガーデンを楽しめるスポット

山下公園の球根ミックス花壇や、横浜公園の10万本以上のチューリップの花壇など、色とりどりのチューリップが楽しめます。 【会場】横浜公園、日本大通り、山下公園、新港中央広場 【期間】4月初めから中ごろ



GreenSnap Marche YOKOHAMA 2023

植物写真の投稿アプリ「GreenSnap」のクリエイターや人気ショップが全国から集まり、ワークショップやショッピングが楽しめます。 【会場】山下公園おまつり広場 【期間】4月15日(土)・16日(日)



問合せ

NTTハローダイヤル TEL:050-5548-8686 (9:00~20:00 6月12日まで) FAX:045-224-6627

※お出かけのときには、それぞれの会場の新型コロナウイルス感染症予防対策に協力してください。



横浜の花と緑をPRする マスコットキャラクター 「ガーデンベア」 ©ITOON/GN



花と緑のスプリングフェア



山下公園では色とりどりの花壇展が開かれます。歴史的な建物が多い日本大通りには花回廊ができて、すてきな春をあじわえます。 【会場】山下公園、日本大通り 【期間】4月7日(金)~5月7日(日)

横浜の海の上に AR 巨大ガーデンベア出現

期間中、横浜の海の上に出現する「うごく」巨大ガーデンベアを専用のウェブカメラで見ることができます。 【ビューポイント】横浜港大さん橋国際客船ターミナル、象の鼻パーク、赤レンガパーク



くわしくはこちら

